

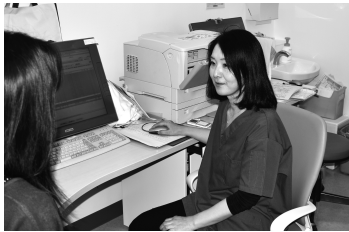
乳がん早期発見のために

自己検診と定期検診のすすめ



徳島大学病院
食道・乳癌・甲状腺外科 医師
もり まさみ
森本 雅美氏

生涯に乳がんを患う日本人女性は十二人に一人とされています。乳がんは三十歳代後半から四十歳代にかけて急増しますが、全ての年代に発症の可能性があります。予防には有効な方法はなく、早期発見が重要です。乳がんの初期には症状はほとんどなく、乳房の変化に気づくことが大切です。生理が始まって約一週間後に、閉経後では毎月自己検診日を決めてチェックしましょう。乳房の状態を記録しておくこと変化を知ることができます。さらにマンモグラフィなどの検査を定期的に行うことで、早期発見率はぐんと高まります。四十歳を過ぎたら少なくとも二年に一度は定期検診を受けましょう。変化や異変に気づいた時は、検診を待たず医療機関を受診してください。



徳島大学病院がん診療連携センター

お問い合わせ がん診療連携センター: Tel.088-633-7312

がん相談支援センター

相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター

<http://www.toku-gantaisaku.jp/>